

(株)吉左エ門

白山市

白山伝説 一向衆鳥越米 生産元

■取り扱っているもの

品 目	出荷時期	生産量 (年間)
お米		
酒米	9月上旬～9月中旬	40t
慣行こしひかり	9月中旬～9月下旬	20t
特別栽培米こしひかり	9月下旬～10月上旬	10t
特別栽培米夢ごこち	9月下旬～10月上旬	10t
晩植新大正もち	10月上旬～10月中旬	10t



■セールスポイント

歴史に名高い一向一揆終焉の地が、旧鳥越村内の弊社管理の圃場です。約40年前の耕地整理時は、弥生式土器が多く出土され、古来より稲作が盛んな地だったことが伺えます。水田に入れる水は、水道水の源流で夏でも非常に冷たく、用水付近では蛍が星の数にも負けないほど舞います。

吉左エ門という法人名は、屋号で初代が吉左エ門であることから命名し、私光宏は5代目となります。昨今の地球温暖化により、ここ鳥越地区でも、お米は慣行栽培では高温登熟となり、きれいなお米は収穫できても、おいしさの面では今ひとつです。弊社では、子供の頃食べた、新米のおいしさを追及し、田植えは6月の晩植田植えとし、追肥にはJAS規格のオール有機肥料を使用しています。

鳥越地区最奥の地で収穫される弊社のお米は、前述にある「歴史ある土」「水道水の源流となる谷川の水」「晩植による気温の寒暖差」により旨みが閉じ込められ、泣く子も黙るほど抜群においしいです。しかしながらその反面、収穫量が里地の半分ほどしかないため、価格面では少し高価なお米となっております。お米についてこだわりをお持ちのお客様にご賞味いただきたいお米です。

代表者 大西 光宏 (おおにし みつひろ)